

独立行政法人福祉医療機構 助成事業

令和3年度 報告書

「食」でつながる 地域プラットフォームの 構築事業



認定特定非営利活動法人
フードバンク信州



	page
はじめに	1
I フードバンク信州の活動	
活動の目標	2
2021年度 実施事業の柱	3
II 事業の実績	
1. 食料の受け入れと提供	
(1) 食料の受け入れ	4
(2) 食料の提供	7
2. コロナ対応子ども応援プロジェクト	8
3. 多様な協働活動のプラットフォームづくり	
(1) 長野県フードバンク活動団体連絡会の設置	11
(2) 広域フードパントリーの運営	11
(3) 「フレッシュフードシェア」のモデル的实施	12
III 資料集	
1. 子ども応援プロジェクトチラシ	14
2. SNSでの情報発信	15

はじめに

2016年2月にNPO法人として設立されたフードバンク信州は、2019年11月には認定NPO法人となり、皆様のお力添えにより設立から満6年を迎えることができました。

この間、2019年には食品ロス削減法が成立し、食品ロスの削減に向けた社会の関心と理解が深まるとともに、フードバンク活動が広く社会的に認知される契機となりました。また、持続可能な社会の発展を目指すべく国連総会で採択され、企業やマスコミ等においても最近注目されるに至ったSDGsの目標も、その実現に向けて活動してきたフードバンク信州に対する理解と多くの新たな支援を得るための礎となっています。

このようにフードバンク活動への理解が深まる中、2020年の新型コロナ感染拡大は、フードバンク信州への期待と果たすべき使命を一気に増大させました。収束を見通せず長期化する新型コロナの影響で多くの方が経済的に逼迫し、とりわけ子育て家庭では休校等により家で食事をする機会が増えたことも相まって食料支援を求める声が増えました。このような要望に対してフードバンク信州は、2020年7月から長野県内全域を対象に「コロナ緊急対応子ども応援プロジェクト」を実施し、2021年度まで継続されたプロジェクトにより延べ3,411世帯に計約28トンの食品を贈りました。

また、コロナ禍における困難な社会情勢等を反映して企業や市民の皆さんから食料を寄贈したいとの機運も高まりつつあることから、フードバンク信州では、このような食料寄贈の円滑化を図り、食料支援のニーズと効果的にマッチングするためのシステムを構築中です。

最後に、食料を提供いただいた協力企業をはじめ、寄附等多方面にわたる御支援をいただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、これからも変わらぬご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

認定特定非営利活動法人
フードバンク信州
理事長 佐藤 豊





I フードバンク信州の活動

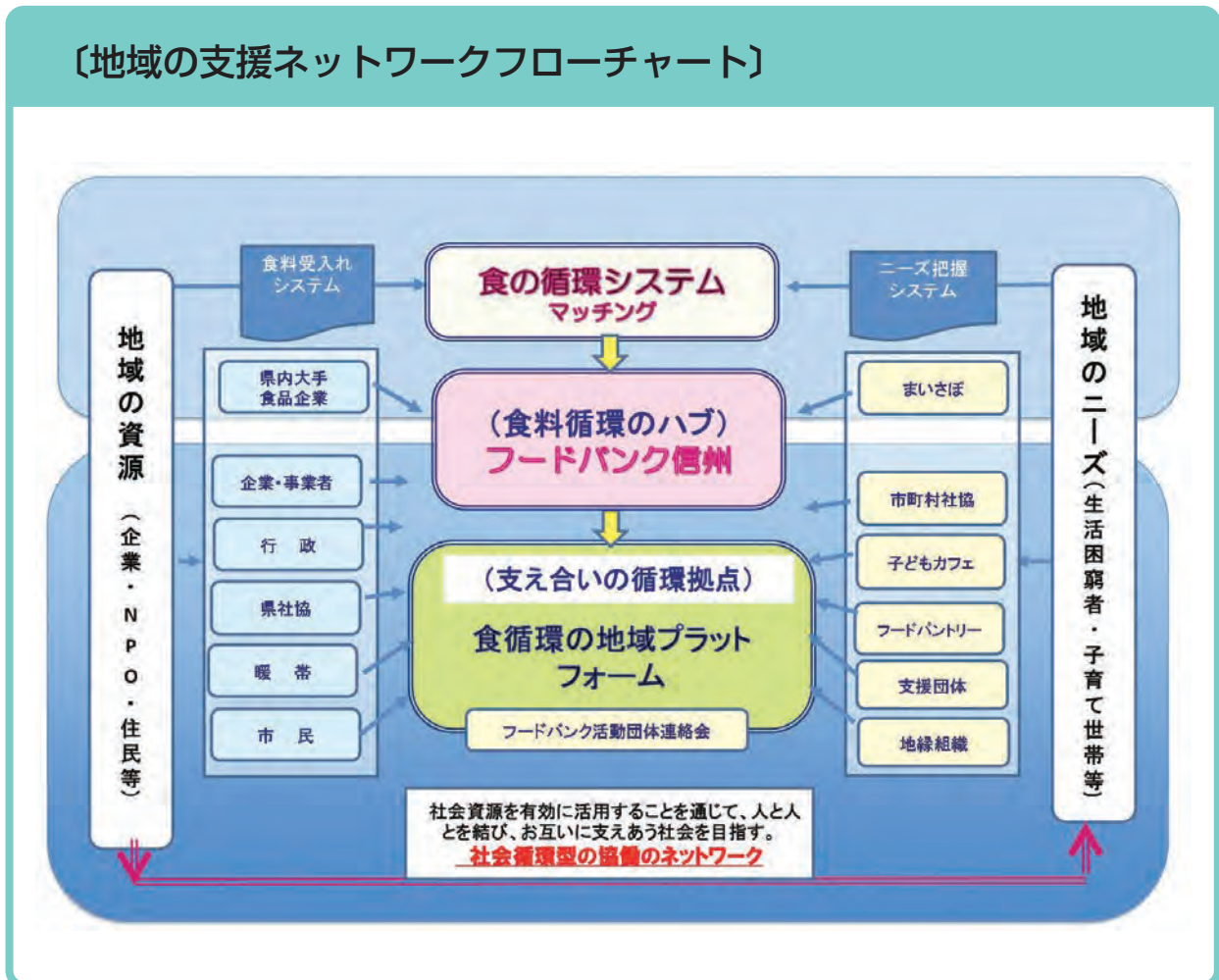
【活動の目標】

「食」を通して循環型社会の地域プラットフォーム構築

食品ロスと困窮者支援を目指すフードバンク活動の安定的、持続的な推進体制を整えることを目的に、企業や市民からの食品受け入れと提供の見える化により、寄贈食料の増加を図り、地域の支援ネットワークとつなげる食料支援のプラットフォームを構築する事業を進めた。

特に、コロナ禍により困窮状態が深刻化したことによる食料支援ニーズの増加傾向が止まらない状況が続いたことに対応し、コロナ化の影響を受けやすい子育て中の世帯を応援するプロジェクトを企画実施した。突然収入減少などにより貧困状態に陥った家族からの申し込みを受け付け、個別に食料を発送する方法をとった。このプロジェクトは、緊急時の単に救済ではなく、こういう貧困状態が進んでいることを社会的に認識してもらい、地域の関係機関のネットワークでそれぞれの役割りを果たして支援を継続するプラットフォームの形成につながることを目指した。

【地域の支援ネットワークフローチャート】



【2021年度 実施事業の柱】

2021年度は、長引くコロナ化に対応し、食循環の地域プラットフォームを県内各地域に順次広げること为目标に、次の事業の柱に沿って事業を進めた。

① 食料の寄贈と提供のマッチングシステム構築による活動の推進

食料寄贈の増加とニーズに的確に対応し、継続的、安定的に活動を進めるため、寄贈と提供のマッチングシステムの構築に取り組み、2022年度からの運用にむけて準備を進めている。

② 地域拠点の機能強化とネットワークの活性化

県下各地域において食料寄贈と食料提供を効率的に展開するため、地域拠点の活動強化を図るとともに、市町村社協が取り組む食料支援活動との連携による活動拡大を図った。

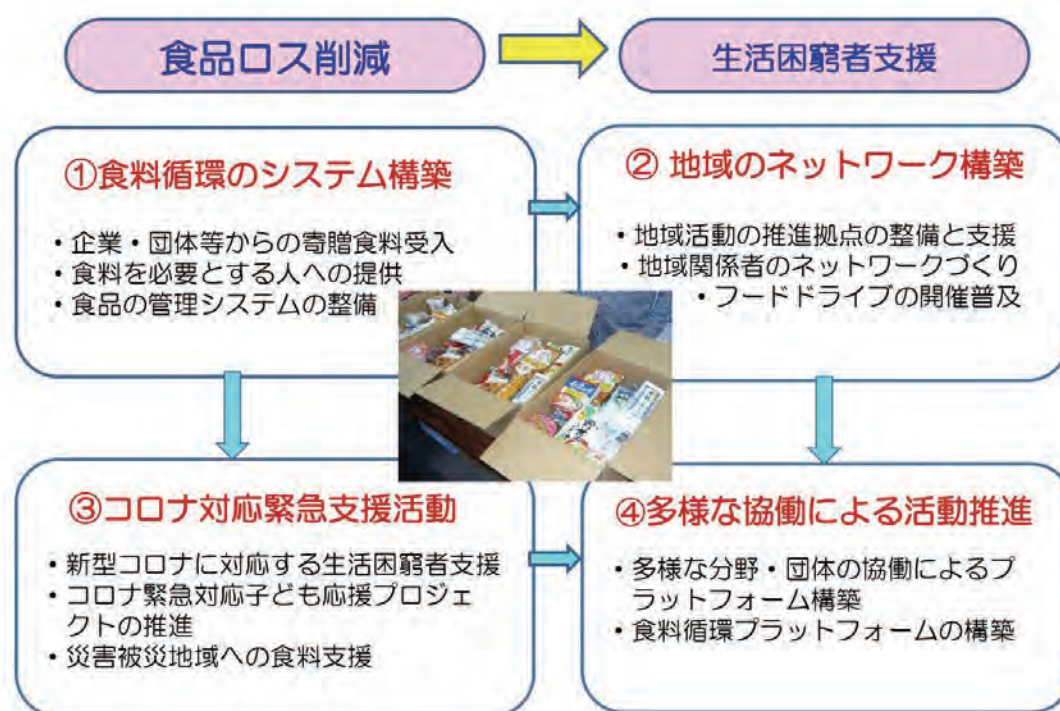
③ コロナに負けない子育て世帯への食料支援

コロナ化で困窮に陥る子育て世帯の食料支援ニーズの増加が止まらないことから、子育て中の困窮世帯を対象に「コロナ対応子ども応援プロジェクト」を年間6回実施した。プロジェクトの応募世帯の状況を分析し、コロナによる子育て世帯の貧困課題の把握に役立てた。

④ 多様な協働による活動推

多様な分野、団体による協働活動の推進を図る目的で、県や県社協と連携し「長野県フードバンク活動団体連絡会」を立ち上げ、県内統一フードドライブキャンペーンなど広域ネットワークによる活動を行った。

〔活動概要〕





II 事業の実績

1 食料の受け入れと提供

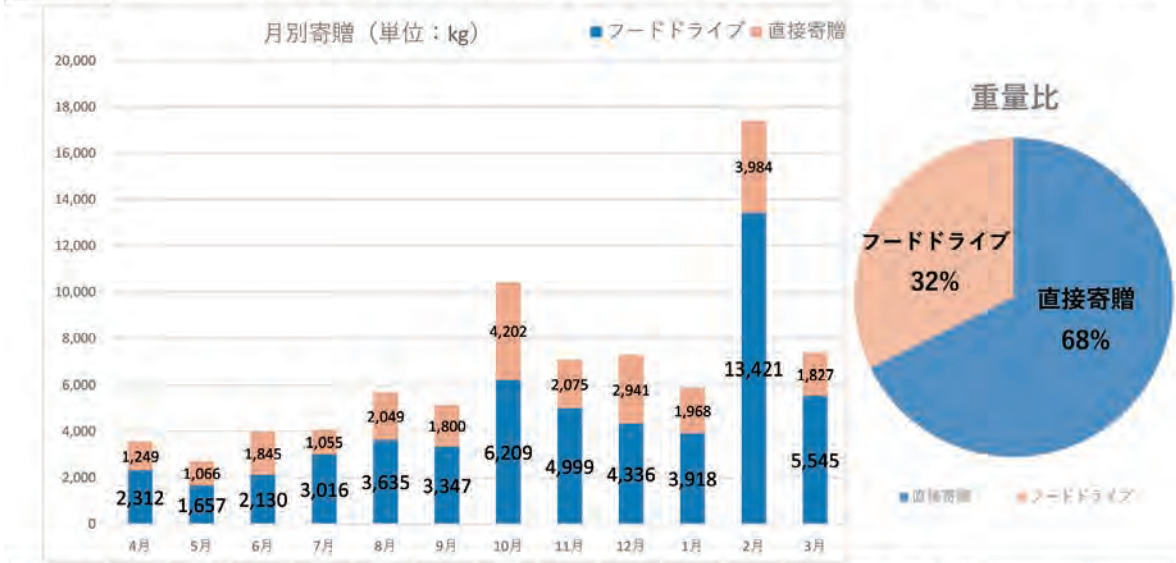
(1) 食料の受け入れ

〔食料寄贈の実績〕

寄贈実績 寄贈種類別重量比 [4地域合算]

2021年度

2021年4月1日～2022年3月31日



寄贈の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	寄贈の種類	年間計
直接寄贈	2,312	1,657	2,130	3,016	3,635	3,347	6,209	4,999	4,336	3,918	13,421	5,545	直接寄贈	54,524kg
フードドライブ	1,249	1,066	1,845	1,055	2,049	1,800	4,202	2,075	2,941	1,968	3,984	1,827	フードドライブ	26,060kg
合計	3,560	2,723	3,975	4,070	5,683	5,146	10,411	7,074	7,277	5,886	17,406	7,372	合計	80,584kg
前年度実績	3,286	6,530	5,305	3,798	2,273	5,411	4,672	3,329	5,639	3,233	4,429	4,694	前年度実績	52,599kg
比率	108.3%	41.7%	74.9%	107.2%	250.0%	95.1%	222.8%	212.5%	129.0%	182.0%	393.0%	157.1%	比率	153.2%

2021年度の寄贈食料の総合計は、直接寄贈とフードドライブによる寄贈を合わせて4地域合計で80.6トンとなった。これは2020年度の実績の約1.5倍となり、コロナ禍の困窮者支援の活動の高まりを示している。特に10月以降の後半の寄贈量の増加傾向が顕著にみられる。

これは、コロナに対応して支援関係団体の意向により長野県が呼びかけて長野県フードバンク活動団体連絡会を設置し、県内統一フードドライブキャンペーン等を実施、県内全域に広報・周知を行った結果、食料寄贈の増加につながった。

大変な今こそ 皆様の思いやりと支え合いが必要です!

コロナで困っている方を助けたい!
緊急フードドライブ統一キャンペーン

新型コロナウイルスの影響による休業や失業によって、明日食べるものに困っている方が急増しています。
あなたの家で残っている食べ物を支援が必要な方に届けませんが、あなたの思いやりがみんなの笑顔を増やします!

集中募集期間
令和4年 2月7日(月)～3月6日(日)

【寄贈していただきたいもの】

缶詰 レトルト食品 カップ麺 菓子類 米 など

※寄贈される際は次のことに注意してください
・賞味期限が1か月以上あるもの ・お米は2020年度産、2021年度産まで
・未開封のもの
・虫や汚れが 確認していないもの
・高温保存できるもの (HPO/ホットライン製物は生鮮食品の取り扱い不可)

コロナ禍で生活が困難になっている方を支援するため、関係団体が連携して統一キャンペーンを実施します

長野県・長野県フードバンク活動団体連絡会
長野県 長野県社会福祉協議会 市町村社会福祉協議会 長野県労働者福祉協議会
信濃福祉 長野市社会事業協会 フードバンク信州 NPOホットライン信州

受贈受付団体使用欄 (各団体の必要事項を記載してください)
住所: tel. mail. QRコード等

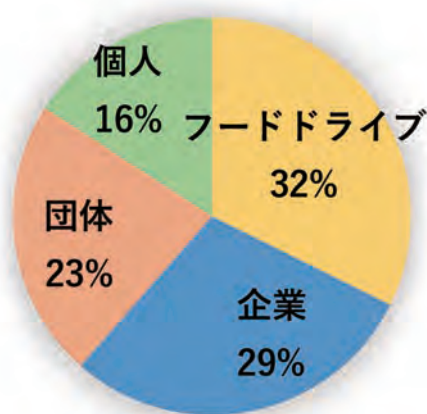
〔寄贈主体別実績〕

寄贈主体		延べ寄贈件数 (件)	数量 (個)	寄贈重量 (kg)	重量比 (%)
直接 寄 贈	①企業	180	94,099	23,483	29.1
	②団体	184	58,419	18,292	22.7
	③個人	570	17,307	12,749	15.8
④フードドライブ		141	42,092	26,060	32.3
計		1,075	211,917	80,584	99.9

寄贈主体は、直接寄贈分は、①企業、②団体、③個人に分けて集計している。それにフードドライブの受け入れ分を加えて集計した実績は、上記の表のとおりとなった。

2020年度に比較して、直接寄贈分は1.4倍、フードドライブ分は2倍となった。この傾向はだれでも困窮者を支援する活動に参加できる場としてのフードドライブが多様な形で広く開催されてきたことを示している。

寄贈主体別重量比

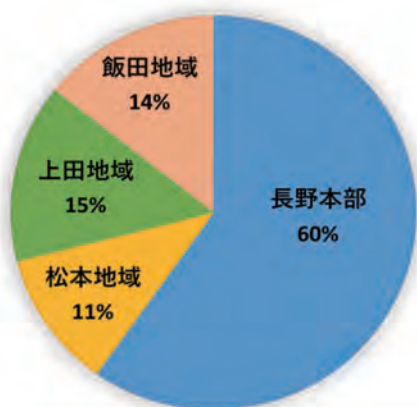


〔地域拠点別寄贈受入状況〕

上記の寄贈食品は、長野本部と松本、上田、飯田の各拠点の寄贈食品を合算した実績値である。地域拠点ではそれぞれフードドライブの定期開催と直接寄贈の食料を受け入れ、それぞれの地域のネットワークにより提供支援を行った。

本部と地域の食料寄贈受入重量割合は、下記のような結果となっている。地域拠点は本部と連携しつつ地域ごとのフーバンクの役割を担っており、活動が定着してきた。

地域拠点別受入実績



地域	中核団体	寄贈重量 (kg)	重量比 (%)
長野地域	フードバンク信州本部	48,165	59.8
松本地域	ワーカーズコープ松本	9,073	11.2
上田地域	上田市社会福祉協議会	11,822	14.7
飯田地域	ほほえみのゆめプロジェクト	11,523	14.3
計		80,583	100.0

〔フードドライブ実施状況〕

	開催数(回)	数量(個)	重量(kg)
定期開催	35	24,725	17,625
イベント	106	17,367	8,435
合計	141回	42,092点	26,060kg

①定期開催フードドライブ

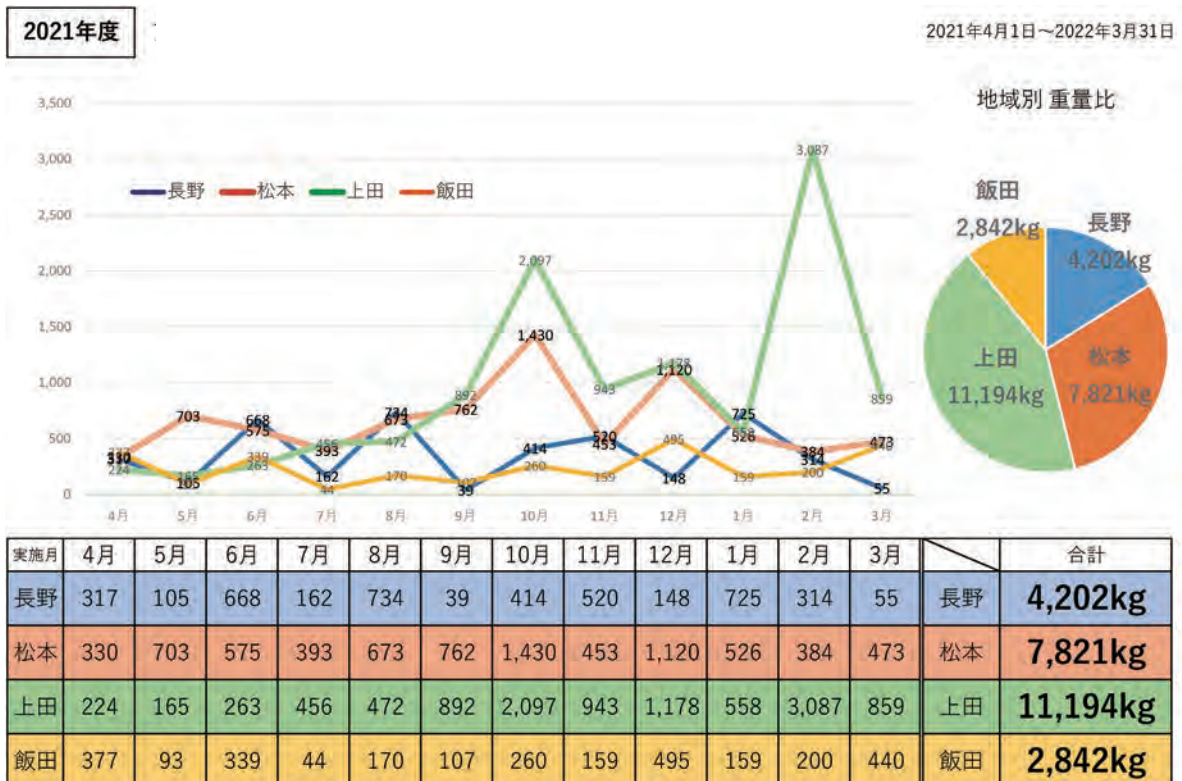
フードバンク信州が、県内で地域の行政、社協、団体等と連携して定期的を実施しているフードドライブは、長野地域、松本地域、上田地域の3か所で毎月1回定期開催している。長野地域はコープながの稲里店、松本地域はワーカーズコープ松本事業所、上田地域は上田市社会福祉協議会と連携して開催。年間17.6トンの食料が集まった。

②イベント開催フードドライブ

定期開催のほか、地域活動団体、企業内、労働組合、福祉活動団体、高校生徒会などが、独自に企画開催するフードドライブも、コロナ禍の影響で開催回数が増加し、年間8.4トンの食料が寄贈された。また、県内統一キャンペーン等で県庁や地域振興局主催のフードドライブの開催数も増加した。

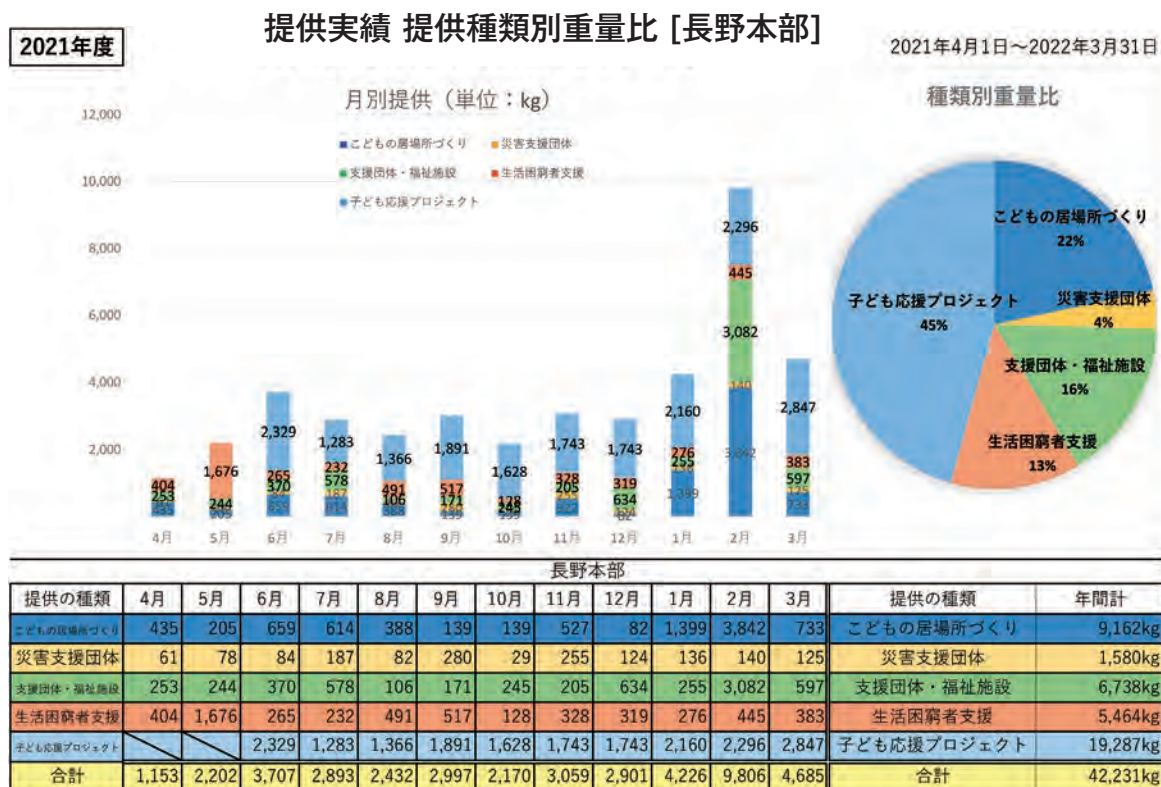
定期、イベント開催を合わせた寄贈量は26トンとなり、2020年度13トンからの約2倍となり、コロナ禍の困窮者支援への参加意識の高まりがうかがわれる。

フードドライブ実績イベント[定期・不定期] 地域別 重量比・推移



(2) 食料の提供

〔提供実績〕



フードバンク信州本部が受け入れた食料の支援提供先は、上記の表のとおりとなった。支援食料の提供先の主な内容は次の通り

○「子ども応援プロジェクト」

2021年度の食料提供の特徴は、コロナ禍のニーズ増加に対応して実施した子育て世帯に対する緊急プロジェクトの提供量が全体の45%と最も多かった。（子ども応援プロジェクトの報告はP8～P10に掲載）

○「子どもの居場所づくり支援」

通常、子どもの学習支援や子ども食堂などを行っていた団体が、コロナ感染拡大により1か所に集まったの支援が難しくなったため、支援が必要な世帯に食料配布を行う活動を行った14団体に対して配布食料を提供した。

○「困窮者支援団体・福祉施設等への提供」

困窮者支援を行っている民間支援団体や市町村社会福祉協議会などの活動についてもコロナ禍の影響で食料支援ニーズが高まり、28団体に対して食料提供を行った。

○「生活困窮者支援」

長野県内の「まいさぼ」（生活・就労支援センター）の相談者で食料支援を必要としている世帯に対して長野県社会福祉協議会及び長野市社会事業協会（ななせ仲まち園）と連携して食糧支援を行った。

2 コロナ対応子ども応援プロジェクト

フードバンク信州では、2020年度から拡大した新型コロナ対応事業として、生活が逼迫し食料が不足している子育て世帯を応援するため、「コロナ緊急対応子ども応援プロジェクト」事業を緊急的に長野県内全域を対象に実施した。

急激な環境変化により食料支援を希望する家庭からWebやFAXで直接申し込みを受け付け、各家庭に食品の詰め合わせを個別に郵送する方法で食料を送付、2020年度は延べ1,080世帯に計約9トンの食品を提供した。

2021年度もコロナ収束の兆しが見えず、ニーズが増加してきたため回数、内容を拡充し、プロジェクトを実施した。2021年度年間の支援実績は、延べ2,335世帯に19.3トンとなった。

このプロジェクトに取り組むことによって企業や団体、市民の皆さんからの食品寄贈や寄付金など支援活動が広がってきた。また、プロジェクトに協賛するフードドライブの開催が広がり、県庁や地域振興局、県内各地域の関係団体などとの連携が進み、協力、支援の気運が広がった。



申し込みは
オンライン
又は FAX で

フードバンク信州
子ども応援
コロナ対応
プロジェクト

新型コロナウイルスの感染拡大により
家計に深刻な影響が出ているご家庭が増えています。
フードバンク信州では、小学生のいる家庭で家計が厳しい世帯に
食料をお送りする応援プロジェクトを実施します。

2021年度 子ども応援プロジェクトの予定
小学生のいる食料支援が必要な家庭を募集し、各家庭に食料をお送りします。

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
2021年 5月～ 6月	2021年 7月～ 8月	2021年 9月～ 10月	2021年 11月～ 12月	2022年 1月～ 3月

緊急募集 子どもたちに贈る食品の奇跡にご協力をお願いします。

企業・団体の皆さんへ
企業品、ギフト品、季節商品などの寄贈に協力をお願いします。

団体や個人の皆さんへ
生活につかつかつ困窮しています。家庭にある余りない食品を、必要なお家庭のために寄贈いただけませんか。

寄付金も受け付けています。
郵送の費用などに使わせていただきます。

何をもち寄ればいいのか？
・賞味期限が長いもの
・常温保存できるもの
・賞味期限が短いもの
・賞味期限が短いもの
・賞味期限が短いもの
・賞味期限が短いもの

主催 認定特定非営利活動法人 フードバンク信州
協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県学生福祉協議会、長野県農業協同組合中央会、
ワークスコープ松本事業所、ほほえみのめめプロジェクト



誰でも貧困になりうる社会が現実

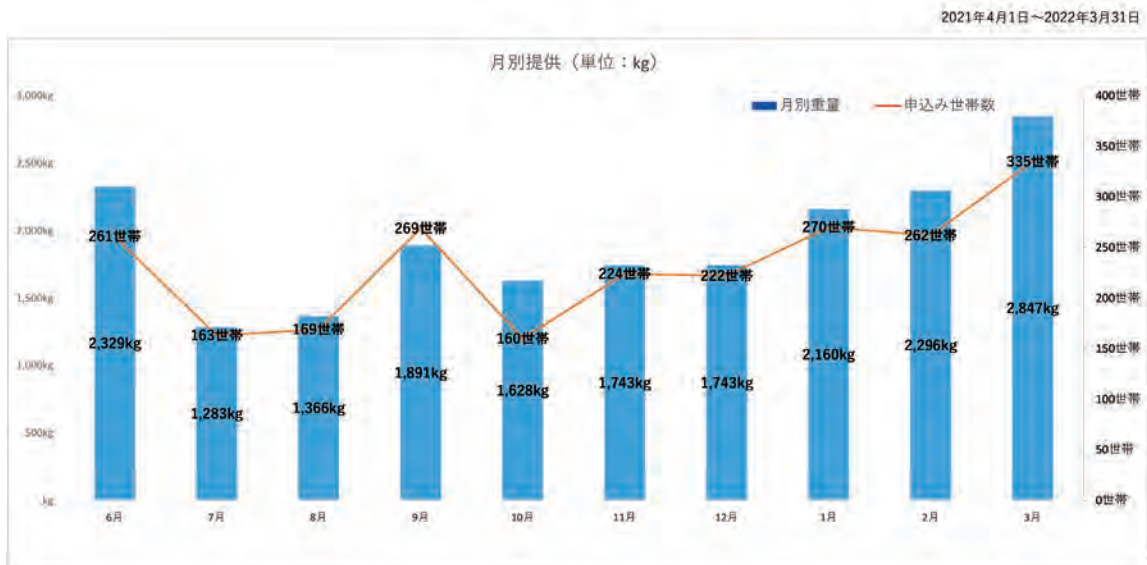
2021年度は、コロナ禍に対応する2年目となる活動を通して、ニーズを抱えた子育て世帯の生活課題の深刻化が進んでいることが明らかになってきた。

申込者の応募用紙の「通信欄」に生活の現状や応募した気持ちを記入して申し込まれる方が多くなり、孤立化や収入減少の実態がうかがわれる。特に家族数が8人～10人という多子世帯からの申込みが多く、食料不足が日常化している実態が訴えられている。

また、家族数が4人、5人という一般的な世帯からの申込みが合わせて48.4%と約半数を占めていることが注目される。コロナ禍が長引くことにより、これまで厳しいけれど生活が成り立っていた世帯が、ジワジワと貧困に陥るといったケースあり、誰にも起こりうる現状だということが明らかとなった。

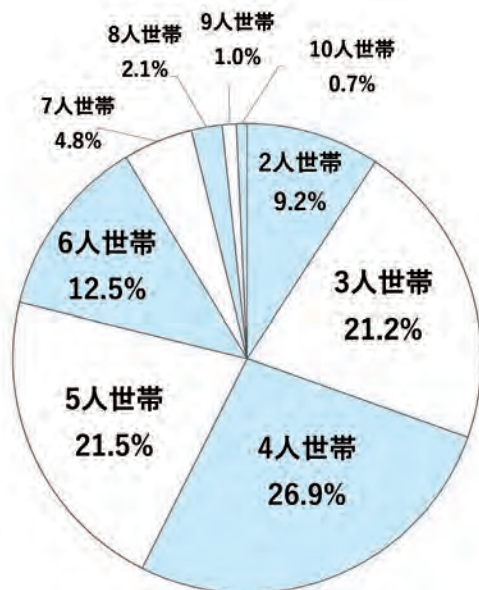
〔子ども応援プロジェクト実績〕

2021年度 子ども応援プロジェクト 提供実績 月別重量・世帯数推移

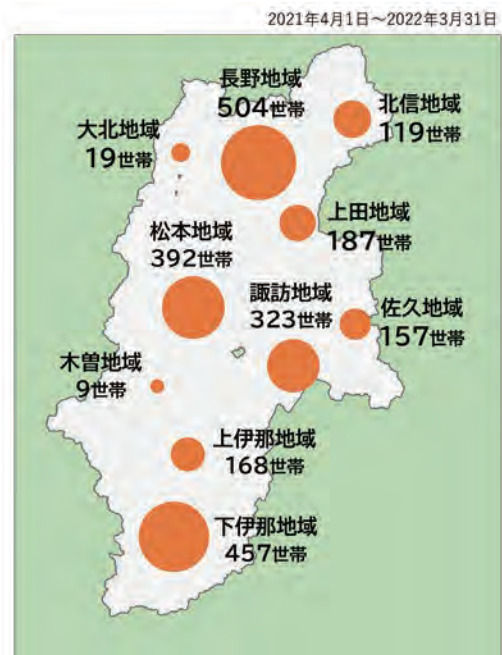


第1回(春)	第2回(夏)		第3回(秋)		第4回(冬)		第5回(春)		第6回(延長)	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
2,329kg	1,283kg	1,366kg	1,891kg	1,628kg	1,743kg	1,743kg	2,160kg	2,296kg	2,847kg	19,287kg
261世帯	163世帯	169世帯	269世帯	160世帯	224世帯	222世帯	270世帯	262世帯	335世帯	2,335世帯

申込世帯の家族人数 (総数 2,335件)



地域別申込件数 (市町村数 59)



応募用紙（通信欄より）

◆ コロナの影響でサービス業の夫の給料が手取り約半分が2年近く続き、夏の賞与も3割減と告知されました。経済的体力が危機的になってきました。食べ盛りの子供にお腹いっぱい栄養のあるものを食べさせてやりたいですが、食費捻出も厳しい状況です。（5人家族）

◆ コロナで仕事が少なく収入が少ないが家族が多いため食べるものが少なくて困っている。さつまいもキャベツが欲しい、シーチキンや鯖などの缶詰が欲しい、多く作れるものが欲しい……
（10人家族）

◆ 家計をどんなに切り詰めても収入より支出が多く、毎日子供達に食べさせるだけでも大変で、お米やお肉は買えない日々が続いています。何でも構いませんので、少しでも子供達のお腹の足しになる物があれば助かります。（9人家族）

◆ 1人親家庭ではなく、応募を躊躇いましたが、やはり子供達の事を考えると、このままでは、ダメだと助けて頂きたいと応募させて頂きました！
前回、沢山の食料を頂いた当日、お米がちょうどきれてしまいどうしようかと悩んでいた時で本当に嬉しかったです！
助けて頂いた事、人の優しさ、思いやりの気持ち有難いね、残さず食べようねと子供達に伝えました！（8人家族）

コロナ禍のニーズを社会に知らせる取り組み

コロナ禍が長引く中で、学校が休校になったり、分散登校などで、家族全体の生活に及ぼす影響が大きく、個々の世帯だけでは解決できない課題になっている。フードバンク信州が、長野県内全域を対象にコロナ禍で生活が厳しくなった子育て中の世帯に、個々に食料提供活動を開始したのは、コロナ禍による環境変化で生計が逼迫し食料不足に陥っている家庭が多いことを社会的に認識してもらうことも大きな要因の一つであった。

フードバンク信州が、個々の家庭を支援する回数や量は多くは対応できないが、この活動を通して地域や支援機関がコロナ禍の課題に気づき、それぞれの機関や地域で継続的な生活支援につなげていく社会の構築を目指している。

実際に活動を始めて2年を経過し、フードバンク信州の活動に加えて市町村社協などが地元の子育て世帯への食料支援や生活支援を行う事例が増加してきた。

食料循環から循環型社会を目指す

長引くコロナ禍への対応、SDGsの目標など、これまでの社会環境を見直さなければならない時を迎えている。

毎日の生活に最も欠かせない「食」の循環を入り口に、資源を無駄にせず、一人ひとりのニーズに届くような社会へと転換していく方向に、行政も公的機関も、ソーシャルセクターもそれぞれの役割を担いながら進んでいく時を迎えている。

3 多様な協働活動のプラットフォームづくり

(1) 長野県フードバンク活動団体連絡会の設置

コロナ禍の影響で食料支援ニーズが増加している状況が続いている中で、長野県内の多くの地域において市町村社協等地域の支援団体が独自に食料の受け入れと支援活動に取り組む地域活動が広がってきた。このような情勢を受け止め、県内の活動団体が課題を共有した上で連携して効果的な活動を推進する目的で、長野県社会福祉協議会などフードバンク活動を行う団体の要請により2021年9月に長野県の呼びかけで「フードバンク活動団体連絡会」を設置した。連絡会には、フードバンク信州のほか市町村社協、長野県労働者福祉協議会、福祉施設団体など12団体が参加し連携活動を開始した。

2021年度は協働活動として、10月、12月、3月に県内一斉にフードドライブ統一キャンペーンを実施した。この取り組みによって、食品寄贈に対する企業や団体の活動参加の気運が高まりつつあり、今後連絡会の協働活動を継続することによって地域のネットワークの拠点化につながることを期待できる。

また、長野県がコロナに対応する食料循環活動を、県民に向かって広報することで企業や市民の関心も高まり、食料寄贈が増えている。

(2) 広域フードパントリーの運営

コロナ禍に対応して県内各地域で食の助け合い活動への取り組みが広がってきたが、市町村域だけの活動では、支援食料の過不足調整に課題があり、広域で調整できる機能や拠点の確保が課題となってきた。

この課題を受けて、長野県社会福祉協議会など賛同する社会福祉法人が連携して、支援食料の確保と広域調整を行うための広域フードパントリー「むすびや」を、2021年6月、長野市内に設置した。広域パントリーは共同倉庫の機能も担っており、フードバンク信州も連携団体として活動に参加し、企業から大量の食品の寄贈を受けた時の第2倉庫として活用するとともに、支援食料の提供調整に協力している。

広域調整の機能を強化するため、フードバンク信州では、広域での食の循環をスムーズに行うためのマッチングシステムの構築に取り組んでいる。このシステムに多くの企業や支援団体が登録することにより、企業からの寄贈食品が増加し、支援団体の活動が充実し、地域における食の支えあい活動が充実することを目指している。



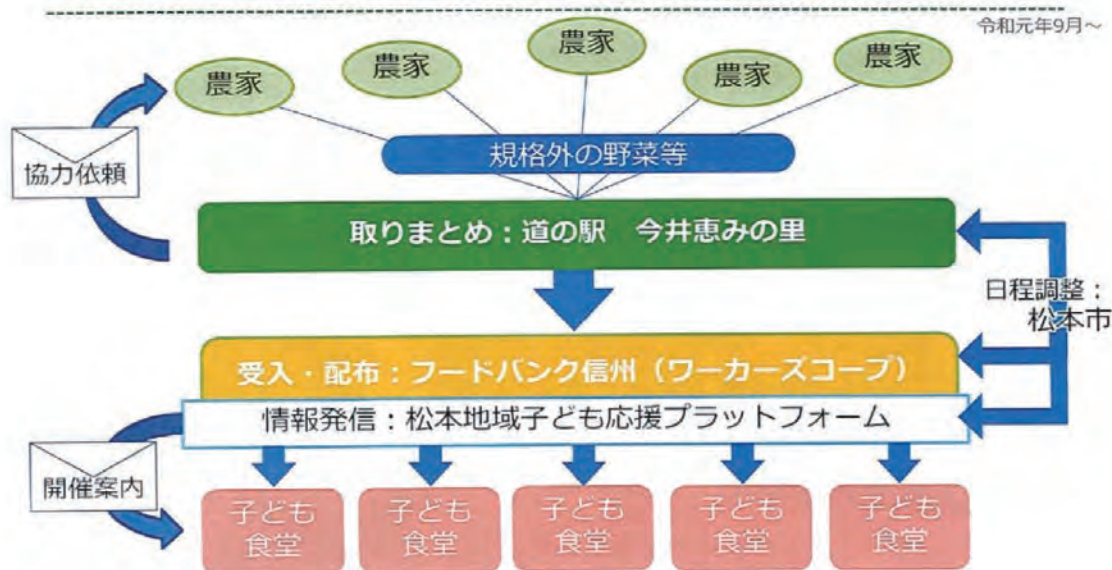
(3) 「フレッシュフードシェア」のモデル的实施

フードバンク信州では、基本的に生鮮食品は扱っていないが、2018年に松本市において開催された「第3回松本市食品ロス削減連絡会」において「畑で捨てられている農産物を活用する仕組みを作れないか」という参加者の意見をきっかけに関係者が検討を進め、地域の道の駅（今井恵みの里）が余剰規格外農産物を持ち込み、フードバンク信州松本拠点が受け入れ、子ども食堂などに提供する活動「フレッシュフードシェア」を開始した。

松本市の「フレッシュフードシェア」は、2019年9月から基本的に月2回（第2・第4金曜日）実施。協力農家から規格外農産物などが持ち込まれ、商品化できない食品が流通することからロス削減につながっている。2021年度の年間の寄贈総量は2,157kgとなった。寄贈された野菜や果物、米などが松本地域子ども応援プラットフォームと連携し多くの団体の支援につながった。

長野県は農産県であるので、余剰農産物を循環させる活動をフードバンクで展開することが今後の大きな課題となっている。松本市でモデル的に始めたフレッシュフードシェアは、農産物共選所や道の駅、路上販売所などとの協働により同様の取り組みが可能と思われる。それぞれの地域の特徴を生かした多様な協働で「フレッシュフードシェア」への取り組みを普及する方向を検討している。

◇ フレッシュフードシェアの流れ



松本市のフレッシュフードシェアは、地元の行政、販売事業者、生産者、利用団体などの地域の協働体制が構築され、農産物の循環システムモデルとなっている。生産者の農家にとっても、農産物を無駄にせず役に立てる活動に参加する機会が生まれ、社会貢献意識の向上にもつながり、新たな協働プラットフォームモデルといえる。





資料集

- 子ども応援プロジェクトチラシ
- SNSでの情報発信

子ども応援プロジェクトチラシ

第1回

2021年
(5~6月)

**申し込みはオンライン
又はFAXで**
FAXでの申し込みはこちら

フードバンク信州

**子ども応援
コロナ対応
プロジェクト**

新型コロナウイルスの感染拡大により
食料に深刻な影響が出ているご家庭が増えています。
フードバンク信州では、小学生がいる家庭で暮らす貧しいご家庭に
食料をお送りする応援プロジェクトを実施します。

支援対象 食料支援を希望される小学生のご家庭

2021年度 第1回子ども応援プロジェクトの流れ

プロジェクト年間計画	申し込み受付期間	お届け時期
※自由にご申し込みいただけます	5月~ 6月20日	6月下旬
2021年 第1回 5月~6月		
2021年 第2回 7月~8月		
2021年 第3回 9月~10月		
2021年 第4回 11月~12月		
2021年 第5回 1月~2月		

※各回の期間中インターネットより申し込み可能です。

主催 認定特定非営利活動法人フードバンク信州

協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県労働組合協議会、長野県農業協同組合連合会、
フーズ・トゥー・ユー信州本部、信州赤十字会信州プロジェクト

第2回

2021年
(7~8月)

**申し込みはオンライン
又はFAXで**
FAXでの申し込みはこちら

フードバンク信州

**子ども応援
コロナ対応
プロジェクト**

新型コロナウイルスの感染拡大により
食料に深刻な影響が出ているご家庭が増えています。
フードバンク信州では、小学生がいる家庭で暮らす貧しいご家庭に
食料をお送りする応援プロジェクトを実施します。

支援対象 食料支援を希望される小学生のご家庭

2021年度 第2回子ども応援プロジェクトの流れ

プロジェクト年間計画	申し込み受付期間	お届け時期
※自由にご申し込みいただけます	7月~ 8月15日	7月下旬 ~8月末
2021年 第1回 5月~6月		
2021年 第2回 7月~8月		
2021年 第3回 9月~10月		
2021年 第4回 11月~12月		
2021年 第5回 1月~2月		

※各回の期間中インターネットより申し込み可能です。

主催 認定特定非営利活動法人フードバンク信州

協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県労働組合協議会、長野県農業協同組合連合会、
フーズ・トゥー・ユー信州本部、信州赤十字会信州プロジェクト

第3回

2021年
(9~10月)

**申し込みはオンライン
又はFAXで**
FAXでの申し込みはこちら

フードバンク信州

**子ども応援
コロナ対応
プロジェクト**

新型コロナウイルスの感染拡大により
食料に深刻な影響が出ているご家庭が増えています。
フードバンク信州では、小学生がいる家庭で暮らす貧しいご家庭に
食料をお送りする応援プロジェクトを実施します。

支援対象 食料支援を希望される小学生のご家庭

2021年度 第3回子ども応援プロジェクトの流れ

プロジェクト年間計画	申し込み受付期間	お届け時期
※自由にご申し込みいただけます	9月~ 10月15日	9月下旬 ~10月末
2021年 第1回 5月~6月		
2021年 第2回 7月~8月		
2021年 第3回 9月~10月		
2021年 第4回 11月~12月		
2021年 第5回 1月~2月		

※各回の期間中インターネットより申し込み可能です。

主催 認定特定非営利活動法人フードバンク信州

協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県労働組合協議会、長野県農業協同組合連合会、
フーズ・トゥー・ユー信州本部、信州赤十字会信州プロジェクト

第4回

2021年
(11~12月)

**申し込みはオンライン
又はFAXで**
FAXでの申し込みはこちら

フードバンク信州

**子ども応援
コロナ対応
プロジェクト**

新型コロナウイルスの感染拡大により
食料に深刻な影響が出ているご家庭が増えています。
フードバンク信州では、小学生がいる家庭で暮らす貧しいご家庭に
食料をお送りする応援プロジェクトを実施します。

支援対象 食料支援を希望される小学生のご家庭

2021年度 第4回子ども応援プロジェクトの流れ

プロジェクト年間計画	申し込み受付期間	お届け時期
※自由にご申し込みいただけます	11月~ 12月15日	11月下旬 ~12月末
2021年 第1回 5月~6月		
2021年 第2回 7月~8月		
2021年 第3回 9月~10月		
2021年 第4回 11月~12月		
2021年 第5回 1月~2月		

※各回の期間中インターネットより申し込み可能です。

主催 認定特定非営利活動法人フードバンク信州

協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県労働組合協議会、長野県農業協同組合連合会、
フーズ・トゥー・ユー信州本部、信州赤十字会信州プロジェクト

第5回

2022年
(1~2月)

**申し込みはオンライン
又はFAXで**
FAXでの申し込みはこちら

フードバンク信州

**子ども応援
コロナ対応
プロジェクト**

新型コロナウイルスの感染拡大により
食料に深刻な影響が出ているご家庭が増えています。
フードバンク信州では、小学生がいる家庭で暮らす貧しいご家庭に
食料をお送りする応援プロジェクトを実施します。

支援対象 食料支援を希望される小学生のご家庭

2022年度 第5回子ども応援プロジェクトの流れ

プロジェクト年間計画	申し込み受付期間	お届け時期
※自由にご申し込みいただけます	1月~ 2月15日	1月下旬 ~2月末
2021年 第1回 5月~6月		
2021年 第2回 7月~8月		
2021年 第3回 9月~10月		
2021年 第4回 11月~12月		
2022年 第5回 1月~2月		

※各回の期間中インターネットより申し込み可能です。

主催 認定特定非営利活動法人フードバンク信州

協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県労働組合協議会、長野県農業協同組合連合会、
フーズ・トゥー・ユー信州本部、信州赤十字会信州プロジェクト

第6回

2022年
(3月)

**申し込みはオンライン
又はFAXで**
FAXでの申し込みはこちら

フードバンク信州

**子ども応援
コロナ対応
プロジェクト**

新型コロナウイルス感染拡大が
止まりません。
そこで、プロジェクトを延長し、
第6回の募集をいたします!!

フードバンク信州では、小学生がいる家庭で暮らす貧しいご家庭に
食料をお送りする緊急応援プロジェクトを
延長して実施します。

支援対象 食料支援を希望される小学生のご家庭

2022年度 第6回「緊急」「延長」プロジェクト

プロジェクト年間計画	申し込み受付期間	お届け時期
※自由にご申し込みいただけます	2022年 3月1日 ~21日	2022年 3月末 までにお届け します!
2021年 第1回 5月~6月		
2021年 第2回 7月~8月		
2021年 第3回 9月~10月		
2021年 第4回 11月~12月		
2021年 第5回 1月~2月		
2022年 第6回 3月		

※各回の期間中インターネットより申し込み可能です。

主催 認定特定非営利活動法人フードバンク信州

協賛 長野県、長野県教育委員会、長野県社会福祉協議会
協力団体 長野県生活協同組合連合会、長野県労働組合協議会、長野県農業協同組合連合会、
フーズ・トゥー・ユー信州本部、信州赤十字会信州プロジェクト

SNSでの情報発信(子ども応援プロジェクト)



フードバンク信州

2021年7月30日

子ども応援プロジェクト夏、1次配送分を作っています。
7月当初からかなりの人数の応募があり、8月末の配送では、少し遅すぎる
ことが見込まれましたので、早めに予約された方に関しましては先行配送を
させて頂いていただく決定をいたしました。
なお、一次配送分でお送りさせて頂いていた方には、2次配送分（8月末
分）ではお送りさせて頂いていただけませんことをご承知ください。
今回は若者ボランティアが4人増えて、お仕事も一気に楽になりました！...
もっと見る



フードバンク信州

2021年7月16日

今週は様々なイベント、活動のための準備が多かった週でした。
円満な活動のためには、打合せや下準備が欠かせません。
上田市社会福祉協議会さんと、今後の上田での活動を話し合ったり、
地域まるごとキャンパス(<https://nagano-kyodo.net/>)地域まるごとキャンパス
2021年6月3日(第2期)の学生説明会にゲスト参加したり、
フードドライブをやってみたいと相談のあった企業さんと軽い打合せをし
たり...(実現したら、また告知しますね)... もっと見る

**申し込みはオンライン
又はFAXで**

子ども応援プロジェクト

コロナ対応

第2回 子ども応援プロジェクトの派れ

申し込み受付期間
7月～8月15日

お届け時期
7月下旬～8月末

プロジェクト年間計画

年度	1期	2期	3期	4期
2018年度	5月～6月	7月～8月	9月～10月	11月～12月
2019年度	7月～8月	9月～10月	11月～12月	1月～2月



SNSでの情報発信(子ども応援プロジェクト)



フードバンク信州

2022年2月25日

今回は子ども応援プロジェクトの発送作業でした。毎月末に発送作業を行います。この時期は事務所内がダンボールのジャングルになります。ボランティアの皆さんと一緒に一生懸命ダンボールを作りますが、200個も300個も一気に作ることはできないので、箱詰め作業をしながら補充して作っています。

もしかしたらご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、昨日NHKに取材していただき、子ども応援プロジェクトの標子を報道していただきました。
(<https://www3.nhk.or.jp/news/nagano/20220224/1010021697.html>)...



+2



フードバンク信州

2021年10月29日

毎月の終わりはにわかに忙しくなります。子ども応援プロジェクト、今月は160件の発送をさせていただきました。今回の子ども応援プロジェクトには、11月3日の高野豆腐の日を記念して長野県凍り豆腐工業協同組合さんから、組合に加盟されている企業さんからお願いいただいた凍り豆腐をいただきました。

凍り豆腐(高野豆腐とも)は、国内シェアの95%が長野県で作られていて、長野県の郷土産「おいしい信州ふーど」にも認定されている長野県の産材です。(<https://www.hakkochoji-nagano.jp/food/kori-tofu/>) 食物繊維・ミネラル分が豊富でさらに脂肪が少ないなど健康に良く、加工が簡単で味が良くくしみこむ特徴があるため、和・洋・中を問わず様々な料理に応用が利きます。

今回は凍り豆腐を使ったレシピも同封していますので、ぜひ作ってみてくださいね



+2

SNSでの情報発信(フードドライブ)



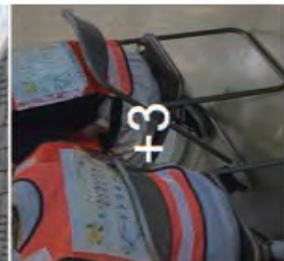
フードバンク信州

2021年10月25日

10月は長野県のフードドライブ月間で、長野県下さまざまな地域でフードドライブが行われております。

フードバンク信州も毎月定例のフードドライブを全員で実施や共催しており、日程を合わせて視察に伺ったりしています。

今週はイオン飯田店にて行われた地球環境高校飯田分室が主催の(私たちは共催側です)フードドライブにお邪魔してきました！... もっと見る



フードバンク信州

2021年11月26日

21日のフードドライブには、初めて南長野リスタジアムで開催したにも拘わらず、大勢の方にご参加いただきました。ありがとうございました！

AC長野パルセイロ様と長野朝日放送様との三者連携による初めての挑戦でした

90名近い皆さんにお越し頂きましたが、多くがパルセイロファンの方で、パルセイロのホームページを見たり、チラシを見たりから、とたくさん食品を持ってきてくださいました。... もっと見る



SNSでの情報発信(寄付金・食品寄贈)



フードバンク信州

WAM助成金

2021年12月15日

先週末と打って変わって寒い日が続きます。子ども応援プロジェクトも応募が徐々に集まってまいりました。本日最終日ですので、ご応募される方はお早めにお願いたします。

さて、この度シブラルタ生命保険株式会社(<https://www.gib-life.co.jp/>)様より、約45万円もの寄付金のご寄付を頂きました。... もっと見る



フードバンク信州

WAM助成金

2021年5月31日

投稿が運くなりました。先日、ヤッホーブルーイング様【代表銘柄：よなよなエール・インドの青鬼、等】、戸塚酒造様【代表銘柄：清酒 塚竹・焼酎 草笛、等】の共同開発製品、クラフトスピリッツ「未来ツクリ2020」の売上の一部をご寄附いただきました！

大好評のうちに完売となった「未来ツクリ2020」は、コロナ禍で飲食店の休業等によって大量に出してしまったクラフトビールの余剰を、廃棄するのではなく新たな商品として再開発できないか、という試み。長野県で3番目に古い歴史を持つ老舗酒造の戸塚酒造様との共同開発で、何か新しいチャレンジが出来ないか、と考えていた兵衛にヤッホーブルーイング様からの打診があり、引き受けたとのことでした。

蒸留副産物は肥料化して地域農家の肥料として、容器は再利用可能なステンレス製ボトルと、再利用とロス削減を前面に押し出しています。... もっと見る



2022年3月18日

フードバンク信州



3月も半ばになり、だんだん暖かい日が続くようになってきました。
 新型コロナウイルス第6波を受けて緊急に開催しております、第6回子ども応援プロジェクトは、週明け月曜日までとなっています。ご応募される方はお早めによるしくお願いいたします。
 本日、コープながの様よりお米を200kgいただきました。こちらはコープデリ連合会へ生産者より寄付されたお米だそう、生産者の黒澤様は、普段よりフードバンクなどへの寄贈をしている方で、コープデリグループのフードバンクとのつながりや日頃の活動を知り、寄贈されたという事です。

託されたお米は、早速子ども応援プロジェクトにて地域の子ども達の高に使用させていただきます！ 本当にありがとうございます。



フードバンク信州

2022年3月8日

3月4日に、株式会社旭電気商会様(<http://www.asahi-denki.net/>)より50万円のご寄付をいただきました！
 旭電気商会様はSDGs推進企業となっており、今回もその活動の一環という事でした。

受取りの際には、私共の活動に対する説明も熱心に聞いてくださいました。

いただきましたお金は、食品ロス削減や困窮者支援のため、しっかりと役立てていきたいと思っております！



独立行政法人福祉医療機構 令和3年度社会福祉振興助成事業
—— 「食」でつながる地域プラットフォームの構築事業 ——
報告書

- 発行日 ● ————— 2022年3月20日
発行人 ● ————— 佐藤 豊
企画執筆 ● ————— 美谷島 越子
発行元 ● ————— 認定特定非営利活動法人フードバンク信州
〒381-0034 長野市大字高田1029番地1
エンドウビル1F東
TEL 026-219-3215 FAX 026-219-3216
E-mail : info@foodbank-shinshu.org
<http://foodbank-shinshu.org/>
- デザイン ● ————— (株)イメージハウス・プロダクション
編集・印刷 ● ————— Creative EYES

※本書より転載・複製する場合には、特定非営利活動法人フードバンク信州の許可を得てください。

食でつながるありがとう♪



独立行政法人福祉医療機構 助成事業
—「食」でつながる地域プラットフォームの構築事業—

令和3年度 報告書



認定特定非営利活動法人 **フードバンク信州**

〒381-0034 長野市大字高田1029番地1
エンドウビル1F東

TEL 026-219-3215

FAX 026-219-3216

E-mail : info@foodbank-shinshu.org

<http://foodbank-shinshu.org/>



山内助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業